

地域医療を支える医療人材の確保について

【関係省庁】厚生労働省

臨床研修医の定員上限枠に対する京都府立医科大学を設置する京都での別枠加算

◆ 京都府では、国から財政支援を受けず、ここ10年間で約840億円を投入して府立医科大学を運営しているが、臨床研修医の定員上限枠は、地域の医師確保対策が勘案されない人口等による機械的な基準で定めることとなっている。地域の自助努力が十分反映される制度となるよう、自治体が独自に運営している公立医科大学附属病院の臨床研修医の定員については、別枠として定員に加算措置を講じていただきたい。

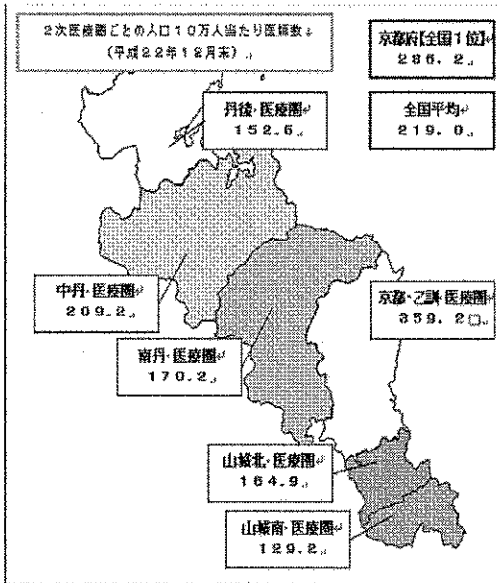
急速な高齢化の進行に対応するための在宅医療等を担う医療人材の養成

◆ 急速な高齢化が進行する中、在宅医療提供体制の充実、認知症への早期診断・早期対応、リハビリテーション提供体制の充実を図るためには、より専門的な知識を備えた医療人材を安定して養成することが必要である。京都府では、一般財源や国庫補助金によりその養成に取り組んでおり、今後も継続して養成できるよう、国において以下の措置を講じていただきたい。

- 在宅医療を担う医師の確保・養成や、在宅療養に関わるスタッフの養成及びネットワーク化促進のために必要な予算額の確保及び診療報酬の加算
- 認知症の鑑別診断等を担う専門医を確保する仕組みの導入及びかかりつけ医の認知症対応力の向上を担う「認知症サポート医」の養成研修に係る十分な予算額の確保
- 京都府で構築を進めている「京都府リハビリテーション教育センター」を核とした独自のリハビリテーション専門医などの養成、教育システムに対する財政支援制度の創設

京都府の現状・課題等

◎ 2次医療圏毎の人口10万人当たり医師数



順位	都道府県	医師数
1	京都府	286.2
2	東京都	285.4
3	徳島県	283.0
.....		
45	千葉県	164.3
46	茨城県	158.0
47	埼玉県	142.6

【厚生労働省試算による京都府の定員】
 20年度採用実績 274人
 ↓
 25年度定員上限 181人
 (△93人。削減率34%(全国最大))

*激変緩和措置として、24年度291人、25年度283人を維持
 (※ 27年度以降の取扱いは、地域医療への影響等を踏まえて今後検討)

◎ 2次医療毎の人口10万人当たり医師数(産科・小児科)

	全国平均	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
産科	8.3	5.7	9.3	4.9	11.6	5.2	5.2
小児科	12.4	7.6	12.2	13.3	18.2	12.6	14.0

◎ 府立医大地域枠学生数(卒後附属病院で研修、H25附属病院定員64)

臨床研修開始年度 (入学年次)	H26 (H20)	H27 (H21)	H28 (H22)	H29 (H23)	H30 (H24)	H31 (H25)
地域枠学生	3	5	7	6	7	7

◎ 医療施設従事医師数の推移

	①平成14年	②平成22年	②-①	②÷①
京都府北部	630	587	▲43	93%
その他	6,181	6,958	777	113%
合計	6,811	7,545	734	111%

◎ 京都府内公立・公的病院に勤務する京都府立医大医局医師の割合(平成23年6月)

	常勤医師数	うち府立医大医局	割合(%)
丹後	73	64	87.7
中丹	124	105	84.7
南丹	84	81	96.4
京都・乙訓	510	345	67.6
山城北	4	4	100.0
山城南	48	38	79.2
計	843	637	75.6

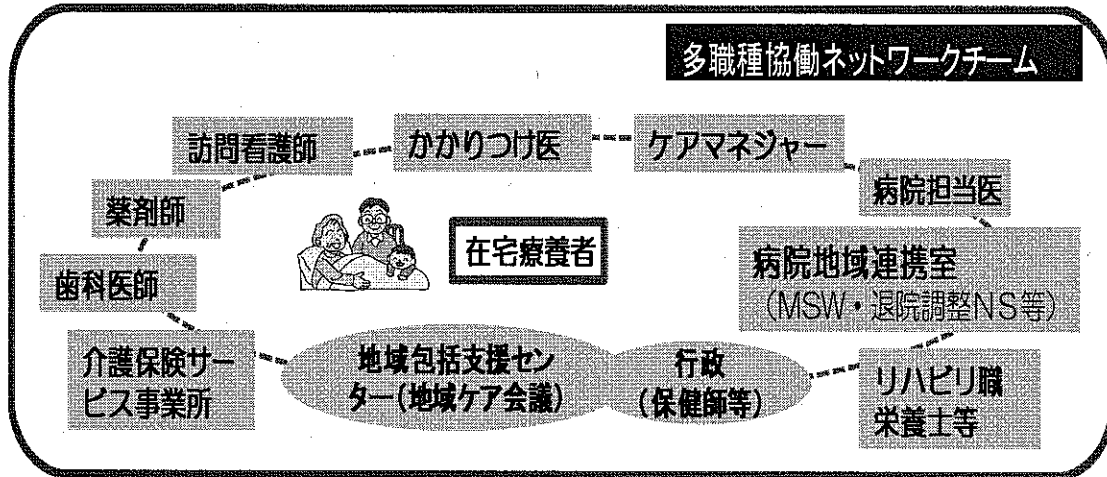
※大学病院、国立病院機構、精神単科病院等を除く

◎ 京都府立医科大学と同規模の国立医大・私立医大の国庫補助金比較(百万円)

	定員	国庫補助金
京都府立医大	630	-
国立医科単科大(一例)	約600	6,144
私立医科単科大(A大学)	約700	1,743
私立医科単科大(B大学)	約650	1,761

(平成20年度決算額調べ)

◎ 在宅療養に関わるスタッフの養成及びネットワーク化促進



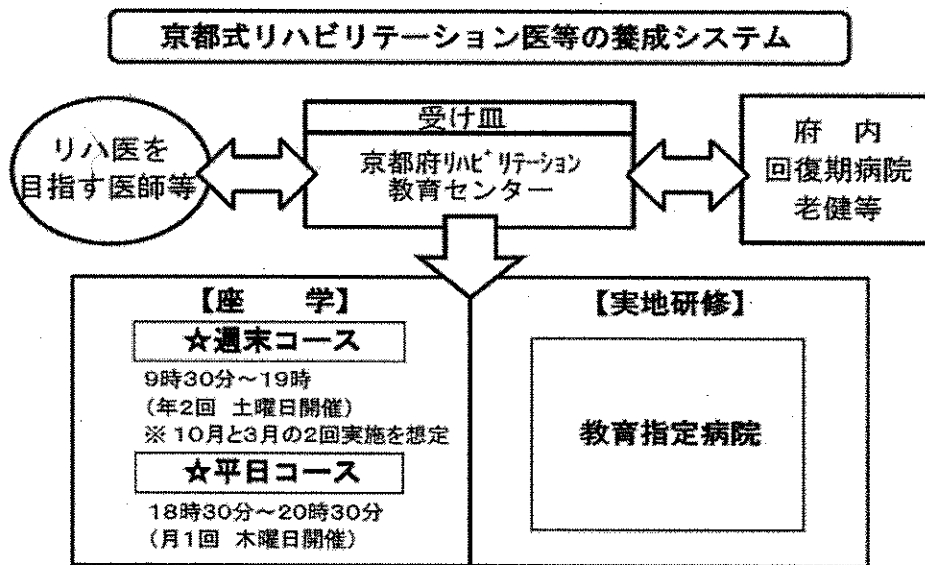
在宅療養コーディネーター

平成24年度に医師、歯科医師、訪問看護師、薬剤師、ケアマネージャーなど約170名を養成

⑤ 予算額 2,000千円 (財源: 緊急雇用対策基金)

◎ リハビリテーション医等養成システムについて

2025年までに200人のリハビリテーション医を養成するため、京都府において、その養成を図るとともに、他府県からのリハビリテーション人材も受け入れることにより、府内全域で均衡の取れたリハビリテーション医療を充実させる。



⑤ 予算額 13,000千円 (財源: 一般財源)

- ※ リハ医を目指す医師: ①京都のリハ医療に貢献する意志を持った医師
 ②かかりつけ医 (開業医)、③リハの専門医を目指す医師
 ④他府県又は府内でリハ治療を専門とする医師 等

◎ 認知症サポート医について

京都市	その他地域	京都府内計
21名	16名	37名

⑤ 予算額 1,200千円 (財源: 国庫補助金 1/2、一般財源 1/2)

【京都府の担当部局】

- 健康福祉部 高齢者支援課 075-414-4567
 健康福祉部 医療課 075-414-4744
 健康福祉部 リハビリテーション支援センター 075-251-5387